

出題分析			
試験時間	75 分	配点	150 点
		大問数	3 題
分量 (昨年比較)	減少	同程度	増加
		難易度変化 (昨年比較)	易化 同程度 難化
<p><b>【概評】</b></p> <p>例年通り大問 3 つで構成され、設問数は減少した。出題形式については、語句記述問題は昨年とほぼ同数だったが、正誤判定問題が大きく増加した。また、年代判定問題は今年も出題されなかった。昨年と同じくヨーロッパからの出題が多く、特に近代ヨーロッパ史や文化史に関する設問が目立った。設問数は減少したものの、正誤判定問題が大きく増加したことを考慮すると、全体的な難易度は昨年よりやや難化したといえる。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	東南・南アジア史	設問 1. (i) : やや難問。ポルトガルによるマラッカ占領後、ムスリム商人はスマトラ島とジャワ島間のスンダ海峽を通過する交易ルートを開拓した。(j) : スンダ海峽ルートの開拓を機に栄えたジャワ島西部の国は、バンテン王国である。設問 2. (C) - (b) : アチェ王国はスマトラ島北部に位置する。アチェ王国もスンダ海峽ルートの開拓に伴って繁栄した。(F) - (a) : 安南はベトナム北部から中部にあたる。唐代の安南都護府に赴任した阿倍仲麻呂も覚えておきたい。設問 3. (ア) : 大理と混同しないように注意したい。	標準
II	近世ヨーロッパ史	設問 1. (A) : 正確な漢字表記で苦戦した受験生がいただろう。設問 2. (b) : エラスムスはネーデルラントのロッテルダム出身。(c) : 『新約聖書』の原典は共通ギリシア語のコイネーで書かれた。設問 3. (2) - (b) : イエズス会はアジアだけでなくラテンアメリカでも大規模な布教活動を行った。(3) - (a) : オスマン帝国のスレイマン 1 世はモハーチの戦いに勝利したのちハンガリーを征服し、1529 年には第 1 次ウィーン包囲を行った。	標準

III	20 世紀前半の欧米史	<p>設問 1. (c) : フランスの外相・首相を務めたブリアンは、ルール撤兵のほかロカルノ条約や不戦条約の締結など平和外交を推進した。設問 2. 表記についての設問の指示を見落とさないように注意したい。(オ) : スターリン批判後、フルシチョフ政権下でスターリングラードは「ヴォルガ川の都市」を意味するヴォルゴグラードに改称された。設問 3. ①- (b) : やや難問。フランスとソ連は、ドイツの再軍備を脅威と捉えて仏ソ相互援助条約を結んだが、ヒトラーはこの条約がロカルノ条約に矛盾すると批判した。②- (a) : アメリカ合衆国で女性参政権が認められたのは 1920 年。②- (b) : 1880 年代から増加した東欧系・南欧系などの移民 (いわゆる「新移民」と、1840 年代から増加したドイツ系・アイルランド系などの移民 (いわゆる「旧移民」) を明確に区別できるようにしたい。また、日系移民が増加する要因となった 1882 年の移民法 (中国人移民禁止法) も覚えておきたい。④- (b) : 内戦に勝利したフランコは、その後 30 年以上にわたって独裁政権を維持した。1975 年にフランコが死去すると、スペインではブルボン朝が復活し、王政のもとで民主化を実現した。</p>	標準
-----	-------------	--	----

#### 合格のための学習法

同志社大学の入試世界史は、標準レベルの知識で解答できる設問が比較的多く、極端な難問は少ない。それゆえ、ケアレスミスによる失点をいかに防ぐかがポイントとなる。例年、文化史関連の出題が目立つ傾向にあるため、過去問や資料集等を用いた対策を万全にしたい。また、語句記述問題も毎年出題されるため、漢字用語を正確に書く練習をするのはもちろんだが、カタカナ用語の表記にも気を付けたい。近年、同志社大学は入試講評で受験生のカタカナ表記に対する注意喚起を行っている。判別できない字は誤答とみなす可能性も示唆しているため、油断しないようにしたい。加えて、同志社大学の入試は解答用紙が独特であるため、特に記号問題は解答欄を間違えないように細心の注意を払ってほしい。